

令和 2 年 度

秋田大学教育文化学部
編 入 学 生 募 集 要 項

出願期間 令和元年 8 月 1 9 日(月)～8 月 2 2 日(木)

試 験 日 令和元年 9 月 1 8 日(水)

秋田大学教育文化学部

〒010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号

☎ 018-889-2507

**令和2年度
秋田大学教育文化学部編入学試験日程**

出願期間 令和元年8月19日(月)～8月22日(木)

試験日 令和元年9月18日(水)

合格者発表 令和元年10月15日(火)

入学手続 令和元年11月5日(火)～11月6日(水)

入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類より志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

(3) 出願書類の提出先

秋田大学入試課教育文化担当 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

(4) 出願についての留意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 受け付けた出願書類の返還および記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願手続等に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

4 選 抜 方 法

成績証明書，入学志望理由書，学力検査および面接の結果を総合して判定します。

(1) 学 力 検 査

基礎的科目および専門教育科目

(2) 学 力 検 査 科 目

課程・学科・コース		基礎的科目	専門教育科目
学校教育課程	教育実践コース	英 語	①小論文 ②教育学概論，教育心理学概論から1科目選択 注)
	英語教育コース	英 語	①小論文（英文） ②教育学概論，教育心理学概論から1科目選択 注)
	理数教育コース	英 語	数学又は理科（物理，化学，生物，地学のうちから2科目選択） 注)
	特別支援教育コース	英 語	①小論文 ②教育学概論，教育心理学概論から1科目選択 注)
	こども発達コース	英 語	教育学概論，教育心理学概論，幼児教育学概論の3科目から2科目選択 注)
地域文化学科		英 語	小論文

注) 学校教育課程を受験する者は、選択する専門教育科目名を、志願票の「専門教育科目」の欄に明記すること。(理数教育コースで理科を選択する場合およびこども発達コースは2科目、それ以外は1科目明記すること。また、「小論文」記載の必要はありません。)

(3) 配点

課程・学科	基礎的科目	専門教育科目	面接
学校教育課程	100点	200点	100点
地域文化学科			

(4) 学力検査等の日程

令和元年9月18日(水)

課程・学科	基礎的科目	専門教育科目	面接
学校教育課程	9:00～10:00	10:30～12:30	13:30～
地域文化学科			

注) 学校教育課程英語教育コースの面接は、英語および日本語で行います。

5 試験場

(1) 試験場

秋田大学教育文化学部 秋田市手形学園町1番1号

(2) 受験上の注意事項

- ① 試験室ではすべて試験監督者の指示に従ってください。
- ② 試験室では、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計（計時機能だけのもの）、メガネ以外の物は、机上に置くことはできません。
- ③ 携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。電源を切った携帯電話等の電子機器類は、かばん等に入れておいてください。
- ④ 試験当日、試験室は8時10分に開場しますので、8時40分までに試験室に入室してください。なお、遅刻限度は試験開始後10分までです。
- ⑤ 試験時間中の答案提出は、原則として認めません。

6 配慮を必要とする入学志願者の事前相談

病気・負傷，身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により，受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は，出願に先立ち，下記様式に必要な事項を記入の上，医師の診断書等を添えて，指定された期限までに入試課教育文化担当に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により，受験上の配慮が必要となった場合には，速やかに相談してください。

また，障害等の程度によっては，事前の準備が必要となる場合がありますので，本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき，進路決定等により特別措置が不要となった場合には，その旨入試課教育文化担当までお知らせください。

なお，事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

(1) 事前相談の期限 令和元年 8 月 2 日（金）まで

(2) 相談先 秋田大学入試課教育文化担当
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話 018-889-2507
Eメールアドレス：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

(3) 様式（A4判） ※本様式のデータが必要な方は入試課教育文化担当までご連絡ください。

受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書		
(教育文化学部編入学試験)		
令和 年 月 日		
志望課程等	教育文化学部	課程・学科 コース
氏名 (生年月日)	(昭和・平成 年 月 日)	
連絡先	〒 - 電話 - -	
障害等の種類・程度 ※医師の診断書等障害の状況がわかるものを必ず添付してください。		
受験上希望する配慮の内容		
修学上希望する配慮の内容 ※入学が確定した後，学生サポートルームから相談内容について連絡する場合があります。		
出身学校で取られていた特別措置		
日常生活の状況		
出身学校	学 校 名	〒 - 電話 - -
	所在地および 電 話 番 号	

7 合格者の発表

令和元年10月15日(火) 16時(予定)

手形キャンパス学生支援棟前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。(編入学後の年次等は、合格通知書に明記します。)

なお、秋田大学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp/admission>) に合格者の受験番号を掲載します。

ホームページへの掲載は情報サービスの一環として行っておりますので、必ず本学掲示板または合格通知書で確認してください。

注) 電話等による問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

合格者には、入学手続関係書類を送付しますので、下記により入学手続きをしてください。

(1) 入学手続期間 **令和元年11月5日(火)～11月6日(水) (必着)**

(2) 納付金

① 入学料 282,000 円 (予定額)

② 授業料 (前期分) 267,900 円 (予定額)
(年 額) 535,800 円 (予定額)

③ 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合、又は入学前1年以内に、学資負担者の死亡その他特別な事情により納付が困難であると認められる場合には、選考の上、免除等が認められる制度があります。(詳細は、入学手続関係書類でお知らせします。)

注 1) 上記納付金は予定額であり、入学時又は在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

2) 入学料は、入学手続期間中に納入してください。

3) 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

9 個人の入試成績の開示

受験者の入試成績を次により本人に開示します。

(1) 開示内容

学力検査および面接の得点、順位 (A, B, C等のランク区分)

(2) 申込期間

令和2年5月1日(金)～令和2年5月29日(金)

(3) 申込者

受験者本人に限ります (代理人は不可)。

(4) 申込方法

窓口への持参および郵送で受け付けます。次の書類等により申し込んでください。

・受験票

・入試成績開示申込書 (様式任意)

※A4の用紙に申込年月日、氏名、郵便番号・住所・電話番号、受験番号を記載

・入試成績送付用封筒 (長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、簡易書留392円分の切手を貼ったもの) ※消費税増税に伴い郵便料金が値上げされた場合は、値上げ後の切手を貼ってください。なお、値上げ後の郵便料金が不明な場合は下記あてお問い合わせ願います。

もし、郵便料金が不足している場合は、不足分は着払いで発送いたします。

(5) 申込先

秋田大学入試課教育文化担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 ☎ 018-889-2507

(6) 開示方法

申込みが受理されてから10日以内に、受験者本人あて簡易書留郵便で送付します。

10 その他

出願についての照会、過去問題や募集要項の請求および出願書類の提出等は、すべて下記宛てとしてください。

(1) 募集要項の請求

封筒のおもてに「**教育文化学部編入学生募集要項請求**」と**朱書き**し、返信用封筒（角形2号封筒（33.2cm×24.0cm））に受信者の郵便番号、住所および氏名を明記し、切手（250円分）を貼付したものを同封してください。

(2) 過去問題の請求

過去2年の間に出题された入試問題を公開しています。（ただし、受験者がいなかったコースについては作成しておりません。）

請求する際は希望の過去問題があるか電話またはEメールで事前に確認願います。

① 封筒のおもてに**朱書き**で「**教育文化学部編入学試験過去問題請求**」と記入してください。

② 下記の2点を記入した用紙を同封してください。

- ・志望の課程およびコース名、または学科名。
- ・請求者の電話番号（不明点等があった場合にこちらから確認することがありますので、確実に連絡が取れる番号（携帯番号等）を記入してください。）

③ 封筒のうらに請求者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。

④ 角形2号封筒（33.2cm×24.0cm）の表に受信者の郵便番号、住所および氏名を明記し、切手（250円分）を貼付した返信用封筒を同封し（折ってもかまいません。）、秋田大学入試課教育文化担当へ郵送してください。

(3) 募集要項および過去問題を同時に請求

(1)、(2)と同事項を記入し、返信用封筒に切手（380円分）を貼付したものを同封してください。

※複数の過去問題・資料を請求した場合は記載の郵便料金では不足しますので、不足分は着払いで発送いたします。

(4) 消費税増税に伴い郵便料金が値上げされた場合は、値上げ後の切手を貼ってください。

なお、値上げ後の郵便料金が不明な場合は下記あてお問い合わせ願います。

もし、郵便料金が不足している場合は、不足分は着払いで発送いたします。

(5) 入学試験に関する問い合わせ

秋田大学入試課教育文化担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

☎ 018-889-2507

Eメールアドレス：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

教育文化学部理念・目的およびアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

◆育てる人物像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し、教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

学校教育課程

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように、豊かな人間性と専門的知識・技術，幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

〈教育実践コース〉

●求める人物像

1. 学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2. 子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

〈英語教育コース〉

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望し，理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組もうとする人
2. 英語教育について高い関心があり，英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする人
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち，学習する機会を積極的に捉え，英語力を伸ばすための努力を惜しまない人
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し，自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人

〈理数教育コース〉

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望する人
2. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
3. 自然科学に興味や関心を持ち，実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
4. 数学への理解を深め，数学の学習を通して，自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

〈特別支援教育コース〉

●求める人物像

1. 特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

〈こども発達コース〉

●求める人物像

1. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2. 子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や、子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

〈地域文化学科〉

●求める人物像

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学，自然科学，情報科学，心理学の総合的な成果を踏まえて分析し，これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3. 地域の特性・伝統を理解しながら，日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し，学業で得た知識・経験を積極的に活用し，地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4. 地域情報を世界に向けて発信し，世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

【参考 1】各コースの特色

学校教育課程	教育実践コース	小学校教員の養成を主とし、中学校教員養成も含めて小中連携に対応できるとともに、子どもの心身の成長発達についての理解を深め、全国トップクラスの学力を支える高度な実践力を持った教員を養成します。
	英語教育コース	小中高の連携による英語教育を実践できるとともに、英語力のみならず言語学的知識と英語圏文化の素養を身につけた上で、異文化間コミュニケーション能力を持った教員を養成します。
	理数教育コース	理科または算数・数学の体系的な知識と指導法を身に付け、理科や算数・数学のおもしろさを子どもに伝えることができ、実感を伴った理解へと学習を発展させることができる教員を養成します。
	特別支援教育コース	特別支援学校および小・中学校等で特別支援教育を担うとともに、インクルーシブな環境で、発達の特性や特別なニーズに対応した支援を実践できる教員を養成します。
	こども発達コース	幼稚園や保育所の教員・保育士と小学校教員の養成を主とし、幼保小連携に対応できるとともに、人間の生涯にわたる発達過程や、幼児教育・保育と学校教育の全過程を見通しながら省察できる教員を養成します。
地域文化学科	地域社会コース	法学、政治学、経済学、経営学、社会学などの社会科学を主軸にしなが、ら、地理学、環境科学、食健康学、住環境学や情報科学も併せて学べます。さらに講義・演習・野外実習などの授業を通じて得る知識や技能を用いて、地域社会を統合的かつ多角的にとらえる能力の取得を目指します。
	国際文化コース	日本を含むアジアと欧米の言語・文化について、言語学・文学・歴史学・哲学・芸術学などの人文科学的な視座から学ぶことができます。体系的な外国語修得プログラム（英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・朝鮮語）や海外研修も活用しながら、国際社会の多様なあり方を幅広く理解した上で、その知見を地域に活かす能力の修得を目指します。
	心理実践コース	心理学に必要な理論や実践、統計法、面接法などについて、基礎から応用までを体系的に学べます。さらに学んだ知識や技能を用いて、地域の問題や課題を考え、様々な活動や調査研究への活用を目指します。 本カリキュラムは認定心理士の資格認定や公認心理師の受験資格に対応しており、大学院に進学することで学校心理士、臨床心理士、公認心理師の受験資格が得られます。

【参考 2】各コースの取得可能な教員免許状の例

◎必須(卒業要件) ○可能

			小学校 教諭1種	中学校 教諭1種	小学校 教諭2種	中学校 教諭2種	高等学校 教諭1種	特別支援 学校教諭 1種	幼稚園 教諭1種	
学校教育課程	教育実践 コース ※1	パターン 1	◎	◎ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)			○ (国, 地歴, 公民, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○	○	
		パターン 2	◎			◎ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○ (国, 地歴, 公民, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○	○	
	英語教育 コース ※2	パターン 1	○	◎ 英語	◎		○ 英語	○	○	
		パターン 2	◎	◎ 英語			○ 英語	○	○	
	理数教育 コース ※2	パターン 1	○	◎ 数学もしくは は理科	◎		○ 数学もしくは は理科	○	○	
		パターン 2	◎	◎ 数学もしくは は理科			○ 数学もしくは は理科	○	○	
	特別支援教育コース			◎ どちらか		○	○ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○ (国, 地歴, 公民, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	◎	○
	こども発達コース ※3			◎	○ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)		○ (国, 社, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○ (国, 地歴, 公民, 数, 理, 音, 美, 保体, 家, 英)	○	○

※1 教育実践コースでは、卒業要件となる免許を「小学校教諭1種」に加え、「中学校教諭1種」あるいは「中学校教諭2種」から選択することができます。

※2 英語教育コースおよび理数教育コースでは、卒業要件となる免許を「中学校教諭1種+小学校教諭2種」と「小学校教諭1種+中学校教諭1種」から選択することができます。

※3 こども発達コースの編入学生は小学校1種を主免とするコースのみになります。
編入学生は保育士資格の取得はできません。

秋田大学教育文化学部 案内図



- 秋田駅前（西口）バスのりば12番から
秋田中央交通バス手形山経由大学病院線
秋田大学前下車・徒歩約1分
- 秋田駅東口から秋田大学まで
徒歩約15分（約1,300m）